ふかまちのまど

第167号　08年04月1日
発行元　深町町内会連合会
連絡所　63－3882

深小だより

新年度を迎えるにあたり

深小学校長　山本　惠司

三月二十一日（金）、温かい春の日差しを受けて、十七名の卒業生が六年間の思い出を胸に本校を巣立っていきました。地域の皆様方には、昨年度（平成十九年度）もまた、温かいご理解と物心両面に渡る様々なご支援をいただき、心より深く感謝申し上げます。

さて、四月七日（月）より、平成二〇年度がスタートいたします。今年度は、十一名の新入児を加え全校児童七五名です。教職員も新たに一致団結して、深の子どもたちの『確かな学力』と『豊かな感性』そして『体力の向上』を根底に、地域に根ざし開かれ信頼される学校経営を推進していきたいと思っています。

本年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。▲▲

三原観光写真コンテスト　銀賞（三原市議会議長賞）　中川卓司さん受賞

三原市主催の「二〇〇七三原観光写真コンテスト」で、中川卓司さん（深町・南峠講）が銀賞を受賞。四月一～十一日まで、JR三原駅にある「うきしろロビー」で、他の優秀作品と共に展示されています。ぜひご覧ください。（編集室）▲▲

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の子どもは

○**午後四時二十分頃下校します。**

※日によって、異なることがあります。

○**近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。**

○**あいさつ、声かけをしましょう。**

子ども会だより

深町子ども会　会長　岡村宣行

◇六年生送る会開催

桜見物の好季節となりました。深町の皆様には、いつも子ども会活動にご理解、ご支援を賜り有り難うございます。

さて先日、三月二十日「六年生を送る会」を開き、子ども会を退会する深小六年生と在校生のお別れをしました。例年、ドッジボールの試合を行い、六年生と在校生の対決、六年生とその保護者の対決をすることになっていたのですが、前夜の大雨の為、深小のグランドも水浸しで、ドッジボールの試合もお流れとなってしまいました。でも、六年生ひとりひとりが、中学校へ向けての抱負を述べ、在校生への期待の言葉を送り、また在校生からも別れの挨拶をしてもらった後、みんなで昼食（カレーライス）を食べて楽しく過ごし、無事「送る会」を終えました。

これで昨年度一年間の子ども会行事は終了しました。翌二十一日は、深小学校の卒業式で、六年生十七人全員が元気に卒業しました。

◇子ども会会長退任挨拶

春は、別れの季節ですが、同時に出会いの季節でもあります。子ども会も新しい子ども達と、その保護者の方々を迎え、また会長を始めとする役員も新陳代謝し、今年度も子ども達の為に力を合わせて頑張って参りますので、深町の皆様の暖かいご支援を賜りたく存じます。

私事になりますが、上の子から数えて九年間、深小学校と深町子ども会にお世話になり、子ども会の役員を五年間させて戴き、先日下の子の卒業と共に、私も子ども会を卒業することになりました。

数年間に渡る子ども会行事の写真を見直しておりますと、子ども達の楽しそうな笑顔の背景には、必ず子ども達を見守る保護者の皆様、地域の皆様の暖かいまなざしがあることにあらためて気づき、嬉しく思うと同時に力強く感じます。

子どもを取り巻く不穏な事件が多い昨今、ここ深町は大丈夫であると。皆様、本当にお世話になりました。有り難うございました。

◇ごみ処理券提供のお願い

子ども会活動費に充てる為、「平成十九年度無料可燃ごみ処理券」を集めております。よろしくお願い致します。

（090－8245－6793
または64－7277岡村まで）▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

子は親の鏡

孤子

〇八年二月号「ふかまちのまど」に、深小学校校長　山本先生が、『子どもが育つ魔法の言葉』を紹介されておられ、興味深く読ませていただきました。約四〇行ほどの短い囲み文章ですが、読む者を納得させることばがちりばめてありました。

―けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる。

和気あいあいとした家庭にそだてば、子どもは、この世はいいところと思えるようになる―。

以上は、初めと終わりの二句の引用ですが、親にとっても処世の術の参考になる「魔法の言葉」だと思いました。

報道される子ども社会の醜姿は、今の大人社会と無縁ではないと感じるのは、わたし一人でしょうか―――。▲▲

三原市平成二〇年度予算・主要施策の概要

◆予算

一般会計　四五一億三六〇〇万円
特別会計　三一五億八四〇〇万円

◆主要施策

①子育て支援の強化
②健康増進対策・地域ケア（高齢社会への対応）
③協働のまちづくりに向けた取組み
④ふるさと情報発信事業（定住、観光、UJIターン）
⑤安心・安全なまちづくり事業
⑥AED（自動体外式除細動器）設置事業
⑦学校教育の充実
⑧地域文化・スポーツの振興―ポポロを拠点とした文化振興等―
⑨産業振興　⑩環境対策

（情報提供　村上徹郎氏）▲▲

全日本高等学校チアリーディング選手権　如水館高校三位入賞

二月十六～十七日、国立代々木第二体育館で開催された「第十八回全日本高等学校チアリーディング選手権」で、如水館高校は第三位に入賞しました。

夏に開催される「ジャパンカップ二〇〇八チアリーディング選手権」では更なる活躍が期待されます。（編集室）▲▲

深町各種団体四月行事予定

◆町内会連合会
▼定期総会　十九日

◆上・中・下組各町内会
▼定期総会　六日

◆小学校・幼稚園
▼始業式・就任式　七日
▼入学式　八日
▼離任式・集金日・貯金日　十日
▼身体測定・入園式（幼）十一日
▼参観日・PTA総会　十八日
▼子ども読書の日　二三日
▼家庭訪問　二三～二四日
▼眼科検診　二八日

◆如水館中学・高校
▼始業式（中・高）　七日
▼入学式（中・高）　八日
▼高校一年合宿十八～十九日
▼中学一年合宿十七～十九日
▼芸術鑑賞「美女と野獣」　二三・二四日

町内会新規入会者紹介

高橋　幸久　様（中組　峠講）

展望席

四月を迎え、新入生、新入社員は喜びと希望と緊張の月であるかと思います。一方、就職浪人、進学浪人となった若者や会社を定年退職した人はつまらない世の中だと思っているかもしれません。「つまらない」ことは、何の価値も無く役にたたないことだと決め込んでいることが多いかと思います。

ところが、逆に「つまる」のも困りものです。溝がつまる、排水管がつまる、息がつまる、腸がつまる、血管がつまる、行きつまる・・・。余りよい事はありません。何事も流れを悪くしているのは「つまり」です。

つまるものには、緊張感やストレスが伴い、気楽な気分にはなれません。つまらないことを言ったり、聞いたり、つまらないことをする時はお互い緊張感もなく、リラックスした状態になり心身が解れると思います。

四月一日はエイプリルフールの日。たわいのない、つまらない嘘で楽しんでいます。井戸端会議は、つまらない会議の象徴のようなものですが、つまらない話や世間話でコミュニケーションを図り気分もスッキリ、活力も生まれてくると思います。

春は冬の寒さや緊張感から解放され、自然界も人間界も温み、緊張感も弛み、動きが良くなってきます。春の陽気とともに、時にはつまらないことをして笑い、つまらない話をして楽しみ、気の流れを良くして、日々ニッコリ、時々モッコリ、いつの日にかポックリ。

深町六年史（二十八）

下組　小林　徳蔵

五十九章　深町町内会連合会（以下「町内会連合会」という。）の場合

①平成五年八月九日、歩道設置委員会を作りました。

◆心情と政策

a、県道五十五号線（大池～小学校）の拡幅と歩道設置を改めて陳情すること。

b、県道を拡幅し、歩道設置に伴う工事予定地への立ち入り承諾を、地権者に求めること。

②第一回委員会以降の活動

必要に応じ頻繁に会合を重ね、幹部とメンバーはひとりひとり夜は家を訪ね、昼は畑まで出向いて話をしました。たまたま路上で出会えば立ちどまって道端で話しこんで説得に努めました。

平成五年八月十九日現在、県道、改修工事予定用地の地権者数は三十三名でありました。

③求めに応じた地権者の数

地権者三十三名のうち、三十名から測量立ち入り承諾を得ました。

④見切り発車に踏み切る

a、県道五十五号を改修拡幅し、ここを通って人と物流がスムーズになれば、深は確実に「変化」します。

b、深から見れば県道改良の好機と考えました。

c、地権者全員の立ち入り承諾は得られなくとも、この際敢えて見切り発車を決断しました。

⑤要望書提出

そこで、十一月二十六日、町内会連合会は三原市建設部、県土木建築事務所を訪問しました。歩道設置、拡幅修繕工事予定地地権者名簿と、測量立ち入り承諾書を添えて、早期の工事着手を要望しました。

⑥未承諾の地権者

立ち入り未承諾の地権者へは続いて説得することにしました。

六十章　夢を呼び込む「変化」

①県立びんご運動公園開園

平成五年十月十五日、尾道市美ノ郷町に県立びんご運動公園の一部が開園し、県東部のスポーツの拠点が誕生しました。

②山陽自動車道県内全通

平成五年十月二十七日、福山西インターから河内インターの間三十八キロが開通しました。これで県内一二五キロメートルが貫通しました。

深は美ノ郷町木頃本郷にできた尾道インターにつながります。

③広島空港開港

平成五年十月二十九日、豊田郡本郷町に二五〇〇メートル滑走路を備えた広島空港がオープンしました。

この日、国際チャーター便六便が飛び立ちました。

④三原市長溝手顕正氏辞職

平成五年十一月六日、三原市長溝手顕正氏は参議院議員補欠選挙立候補のため、市長職を辞職しました。

⑤溝手顕正氏当選

平成五年十二月五日、溝手顕正参議院議員が誕生しました。

⑥新三原市長山本清治市長の誕生

平成五年十二月二十七日、山本清治氏が当選しました。

◆「変化」の及ぼす効果

この章に記述した①～⑥の出来事による影響の及ぶ範囲は広く、且つ深いと思われます。波及効果の大きさは、すぐには測り知ることはできません。

六十一章　平成五年を顧みて

①天気レポート

わたしたちの日常が雨とともに過ぎてゆくことは、よく分っていりつもりですが、ともすれば忘れがちなものです。

次の項②の深刻さ、③の項に盛られた用意周到な配慮は、どちらも強く印象に残りました。

敢えて記録にとどめました。

②「中国年鑑」より引用

長雨、冷夏が直撃、春先からの低温と、梅雨明けの大幅遅れのため不稔、もみ、穂いもちの被害が進行、一九九三年産米は作況指数が岡山の九二の不良を除き、島根の七九、広島の八六など軒並み著しい不良となり、戦後最悪となった。

③一年間「時」を巻き戻す

山中学園開発事業造成工事を始めるに先立ち、洪水防止協定が結ばれていました。

三原市長溝手顕正氏と学校法人山中学園理事長山中幸平氏の間に「洪水調整池の管理協定書」が締結されました。

日付は平成四年八月十八日

◆協定書の概要は次の通りです。

第1条　×目的×

この協定は、山中幸平氏が実施する「山中学園開発事業」造成工事に伴い、洪水流量調整のため山中幸平氏が下記第2条に示す二箇所の防災調整池（以下「調整池」という）、及び流末水路を安全、且つ有効に利用するための管理方法、及び管理に要する費用負担について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条　適用範囲　略

第3条　管理　略

第4条　敷地の管理　略

×

第5条　大雨洪水注意報の発令等、緊急時の管理、及び措置　略

×

第6条　原状回復　略

第7条　管理責任　略

第8条　費用負担　略

×

第9条　雑則

この協定に定めのない事項、または疑義を生じた事項については、その都度甲乙（三原市長、山中学園理事長）協議して定めるものとする。この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ1通を保有する。

（次号へつづく）▲▲

如水館中学校での三年間

如水館中学三年　南　未来

早いもので中学校へ入学して三年間がすぎようとしています。

不安な気持ちで入学した三年前。小学校時代の友達とわかれ中学校へ入学。新しく友達ができるか心配だったけど、意外にも早く、クラスのみんなと仲良くなることができました。

私のクラス、B組は個性ゆたかな友達ばかりで、口げんかなどもするけど、一つ意見がまとまり目標がきまると、一致団結するとてもよいクラスです。球技大会や運動会、文化行事に百人一首、「優勝」に向けてまっしぐらな私たち。お互いに刺げきし合い、はげまし合い共に成長してきた三年間でした。中一の頃に比べれば、とても成長したなと思います。そんなクラスとも、もう離れ離れになってしまいます。

私にとって三年B組はとてもかけがえのないクラスでした。高校へ進んでも、みんな友達です。コースやクラスが違ってもず～っと友達です。

良き友達と出会えてよかったです。

※この作文は今年三月に書かれたものです。▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

心臓にワイヤー通し管を入れ
　成功したよと医師は笑顔に

空想の映画のシイーン見るごとく
　皆管を付けICUの夜

胸に載す重たき物を捨てたごと
　術後の身体軽やかになり

▲▲

「地球温暖化」のはなし④

中組　安藤　志保

前回の、家庭での省エネもとても大切ですが、二酸化炭素を大幅に減らすには、社会の仕組みを変えることが重要です。仕組みを変えるためには、政治や選挙に関心を持つこと、社会的に意思表示をすることが必要です。

そして、毎日の暮らしの中での買物にも大きな力があります。例えば季節はずれの野菜を作ったり、遠くから運んでくるには、たくさんのエネルギーが必要で、その分二酸化炭素を余分に出すことになります。旬のものや、近くで作られたものを選ぶようにしましょう。「買う」ことは、対象の商品や企業を支持すること。私達が環境により優しいものを選ぶことで、そういった商品が社会へ広がることになります。

市民から市民へ温暖化ストップを呼びかける「豪快な号外」という新聞を、全国の有志で作りました。「ふかまちのまど」と一緒に配っていただけることになったので、ぜひ読んでみてください。

（完）▲▲

ピッコロだより

花の苗・野菜の苗もニコニコ

ポカポカ陽気になると、気分も最高になり、何か良い事がありそうな気がして、ついつい出かけたくなるのが心境です。そのお出かけ先の一つにピッコロのハウスに出かけませんか？次から次へと花があちこちに咲いてきました。色とりどりの花とは対称に地味に生長しつつあるのは野菜です。野菜の苗は四月二十二日頃よりの販売を予定しています。トマト・ピーマン・キュウリ・カラーピーマン（パプリカ）・サニーレタス・パセリ等々。野菜苗は五十円～八十円です。

花の苗、野菜の苗、多品種揃えて皆様のお越しをお待ちしています。お花を植えて、お水を撒いたり、手入れをしたり、あわただしい日々の生活に少しの時間、花を観て、育てて、感動と喜びにときめいていただきたいと思います。▲▲